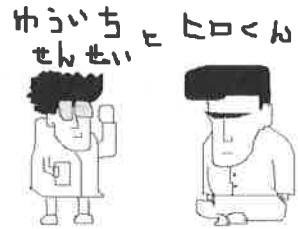


NEW

定時制 青春日記

(松嶋宏之・作)

これは、とある定時制高校に通う新入生ヒロ君と、
新米教師裕一先生の、青春の「コマ」である。



入学式

裕一先生「ヒロ君、定時制高校への入学
おめでとう。僕が担任の、裕

一先生だ。よろしく！」

ヒロ君「夜露死苦！ところで、定時制
が単位制になったんだって？
単位制って何だよ？」

裕一先生「留年というものがなくなった
んだ。いろいろ細かいところ
もあるけれど、簡単にいうと
卒業に必要な単位を取得すれ
ば卒業できるようになったん
だ。三年間で全て取ってし
まってもいいんだよ。」

ヒロ君「ラッキー！留年やべえと思っ
たんだ。これなら卒業できる
じゃん！」

一ヶ月後

裕一先生「おい、ヒロ君。授業にも出
ず、こんなところで何してる
んだ！」

ヒロ君「俺、あの授業の先コウが嫌い
だから、もうこの単位いらな
いよ。他の授業で取る。もう
この授業に出ねえー単位制だ
からいいだろ。」

裕一先生「……」（授業をさぼる生徒を
どうしたらいいんだろう？）

三ヶ月後

裕一先生「おい、ヒロ君！またまた授業
にも出ず、こんなところで何
してるんだ！」

ヒロ君「俺、この授業の単位落とし
ちゃったんだ。次の時間も落
としちゃったから、暇だなあ。
何か楽しいことないかな？ク
ラスの誰か誘って、どっか
行ってくるかな？」

裕一先生「……」（授業の無くなった生
徒をどうすればいいんだろ
う？）

半年後

裕一先生「ヒロ君、定時制は今年から二
学期制になり、学期ごとに単
位が認定されるようになった

から、前期のことはリセットされ一〇月からまた授業に出られるよ。頑張ってくれたまえ！」

ヒロ君「俺、数学の授業に久しぶりに出たけど、途中からじゃチンブンカンブンだよ！」

裕一先生「……」（授業の連続性をどうしたらいいんだろう？）

四年後

裕一先生「ヒロ君、いよいよ四年生だな。

頑張れよ！」

ヒロ君「先生、俺四年生だけど、まだ六単位しか取ってないっす。進路変更も考えようと思っただけれど、留年もないし、ずるずるここまできちゃいました。留年があった方が進路変更しやすかったのかな？それと先生、なんか四年生ってめっちゃくちゃ多くないですか？単位とれてない生徒がた

まっちゃってるじゃないですか。先生も、大変ですね。」

裕一先生「……ありがとう。ヒロ君も成長したな……」（難しいクラス運営をどうしたらいいんだろう？）

五年後

ヒロ君「先生、俺今頃気づいたんだけど、定時制にはスクールカウンセラーと、スクールソーシャルワーカーっている人がいるんだね。それって何？」

裕一先生「い、今頃……。スクールカウンセラーは学校で相談に乗ってくれるんだ。そして、スクールソーシャルワーカーは、学校にいただけでなく、ヒロ君の家に向いてまで相談に乗ってくれるんだよ。」

ヒロ君「そっか……。俺、実は相談したいことがあるんだ。」

六年半後（前期卒業式）

裕一先生「ヒロ君、卒業おめでとう！年の途中だけど、六年と半年かかって、なんとか単位がそろって卒業だな。」

ヒロ君「裕一先生、ありがとう！みんなに、いろいろと相談にのってもらったおかげだよ。ところで、俺まだ就職決まっていないんだけど、これからどうしたらいいのかな？」

裕一先生「卒業おめでとう。まあ、なんとか頑張れよ！さようなら、さようならあああ……」

ヒロ君「……」

（注）この会話はあくまでもフィクションですが、どこかの定時制でこのような悩みの中、頑張っている先生がいるかもしれません。頑張れ、定時制先生！

定通再編一年経過後の 県下の高校の現状に関する アンケート調査結果

一 後期入学者受け入れに ついて

(1) 昨年度の受け入れ人数 二七名

(県外からの受け入れはない)

※うち、一九名は通信制

(2) 後期入学者の現状や、後期入学者受入
に関する問題点など

- ・ クラスの仲間と打ち解けて学習に取り
組んでいた者と、クラスにとけ込もう
とせずほとんどの単位を落としたり者が
いる。

- ・ 前期から継続している学習内容の指導
や、総合学習およびし日の単位修得が
問題。

- ・ 年度途中より入学するというところにそ
れほど必要性があるのか疑問。

- ・ 修得単位との関係で、半年あるいは一
年半とかで卒業できるとは限らない。

二 半期ごとの単位認定について、 全般的に見て、単位の 修得率はどうかだったか

通年認定の時よりも、

〔上がった一校 変わらない一校

下がった三校〕

※上下の変化がある場合、その理由の主
なもの

〔上がった〕 理由については回答なし
〔下がった〕

- ・ 以前はきちんと履修できる生徒のみが
残る形となったため、修得率は高かつ
た。

- ・ 履修不可が昼・夜間部で増加したが、
修得率は横ばいである。

- ・ 九月に単位認定するため、指導時間が
不足するなどにより。

三 学年制から単位制への 変更にもなって、 学校の状況はどうなったか

- ・ 単位制になったからだとはいえない
が、授業一クラスあたりの生徒数が増
え、授業をさぼる、クラス運営で手が
かかるなど、指導上問題となる事例を
多く抱えるようになった。

- ・ 授業の中抜けなどが増え、クラスの連
帯感は薄れていく感じがする。落ち着
きもなくなった上に「担任が把握すべ
き生徒の個別状況(各授業の欠課など)
が細かすぎる」ことになった。

- ・授業をさぼる生徒は、欠課時数条件が厳しくなったため減少傾向。後期入学者がいるため、クラス運営での工夫が必要。前期と後期の授業の連続性があるので休みの多い者は不利。

- ・学年制の雰囲気を残しているので、とくに変化はない。

- ・今のところあまり変化はないが、単位制ということで軽く考えている生徒の問題や途中編入・卒業により生徒の出入りが多くなるなどで、今後指導は難しくなると思われる。

四 昨年度三修(三年間で卒業)を希望した生徒数の割合と、一年後も続いている割合

- ・約六割の生徒が希望し、続いているのは希望した生徒の約五割。
- ・約七割の生徒が希望し、続いているのは希望した生徒の約九割。
- ・約六割の生徒が希望し、続いているのは希望した生徒の約七割。
- ・一九名の生徒が希望し、続いているの

は一七名。

- ・もともと単位制で三年で卒業できるところが特長ですが、夜間部でとくに四、六年での卒業となる生徒が増えてきている。

五 早急に取り組まなければいけないと思われる当面の課題

- ・学校設置時に想定していた一クラスの生徒数を超える生徒数になって、教室が狭くて入りきらない。

- ・施設・教員数の面での不足。
- ・何となく籍をおきつづけている生徒が増えており、きちんと卒業するための環境整備が必要。

- ・夜間部に四、六年在籍者が増えてきており、これまでより一クラス増やさざるを得なくなつて教員の増加が必要。

六 今後解決しなければならぬ問題等

- ・多様な問題をかかえた生徒が入学してきており、一クラス四〇名の募集形態では対応できない。一クラスの定員を一〇名程度にすれば対処していけると思う。

- ・平日コース閉鎖に伴う在籍生徒の扱いをどうするか。

- ・編入者の増加や新課程導入により、カリキュラム編成が非常に困難になっている。

- ・後期入学生の学習指導。通年単位認定の総合学習・LHの単位修得。

- ・学習意欲がありながら事情があつて本校に入学した生徒や、働きながら学ばざるを得ない生徒のための学校であり続けるにはどうすればよいか。(とりあえず通つてみようかという感覚の生徒が増えると、真剣に学ぼうとする生徒にとっては学習環境が悪化するばかり。)